

(17)



全裸の遺体発見 日本女性を狙う バリ島ジゴロの凶悪手口

バリ島で多発する日本
人女性を狙う事件の背景
とは……。

た。パリ島中心部グタ地区の住宅で26日、現地在住の島田裕美さん(41)が殺されているのが見つかった。島田さんは全裸で両足首を縛られた状態で見つかった。腹部などへの複数の刺し傷があり、致命傷になったとみられる。現場には使用済みのコンドームもあった。パリでは今年9月にも

ヤク漬けにされて
の男に殺害される事件があつた。10年前に現地の
バリ警察に所属していたことのある米国F.R.P連邦
捜査官の荒木秀一氏(45)は「観光地のバリ島は、キレイでミステリアスの良いイメージがあるが、裏では隠れた危険が潜んでいる」と指摘する。

金引き出せなくなったらポイ捨て

き込まれるケースは大半がインドネシア人ジゴロ絡みだ。「ジゴロの間」で日本人女性は完全にターゲット。ジゴロ狙いの日本人中年女性による貢春ツアーモードのため、金を持っていて簡単に股を開くというレッテルを張られていく（荒木氏）。

一夜のロマンスならまだしも強盗や結婚詐欺などのトラブルが絶えないという。

「ジゴロにナンパされた日本人女性が酒に薬物を入れられ、ヤク漬けで監禁されていたところを見つけたことがある。貧乏なから援助してくれと同情を誘い、その後に不動産

を賣わせ、金を引き出すなくなったら開き直って殺してしまうケースもある。薬物が絡むと泣き寝入りし、表ざたにならないことも多い。凶悪事件は年に100件はあるハズ」と荒木氏。

また現地には米軍キャンプがあり、米兵による犯罪も多発しているという。「レイプや暴行などやりたい放題で警察も見て見ぬふりをする。日本人女性は危機意識を持たないといけない」(荒木氏)。年末年始にはパリ島に多くの日本人旅行者が訪れる。現地の日本総領事館も注意を呼びかけている。